

## 神奈川県警備帆船

### やまとゆり

本誌前号口絵で紹介された神奈川県警察本部の警備帆船「やまとゆり」は、次頁図に見る通り、スタイルも、全くのヨット型であり、厳密に云えばモーターセーラーである。

帆船の特長は長時間の海上就役に適することと、波浪中のピッチングやローリングが柔らかいことであるが、この艇の場合は、その他に、外洋レーサーに匹敵する帆走性能と、激浪中でも8~9ノットの機走性能を発揮することである。

その機走用エンジンはターボチャージャー付き120馬力の、*クイズディーゼルDA 120 TMF 6 RC*を装備している。

前部キャビンには、メインキャビンの他にギャレー、シャワー付のトイレットルーム及びフオービーク（前部室）があり、広々としたコクピットには、舵輪とエンジンコントロールがあり、その床下は機関室で、機走用エンジンの他に、*クヤンマーディゼル*付の2kw発電機と3系統のバッテリー及び配電盤などが装備され、船内の給水ポンプ、ビルジポンプ、便所なども電化されている。

後部キャビンは乗員室で、乗組員のベットの他にチャートテーブル、無電士のテーブル、方向探知機、エアコン等がある。

ロットがサッソーと乗り移つて来る。……それがサンフランシスコ名物の1つと云われていた。

日本の表玄関の神奈川県に、モーターセーラーの警備船、*くやまゆり*が出現し、今後どのように使われるか、興味深い問題である。

なお、本艇は三崎港を母港として、当面、湘南水域の警備救難に就役している。

#### 濠洲における

#### モーターボートの市場調査

かねて JETRO が調査を進めていたオーストラリアのモーターボート市場調査がまとめられたので、同会ではマーケッティング・シリーズ99号としてA5版80頁の冊子にまとめ、希望者に実費400円で頒布している。申込は東京都千代田区丸の内1ノ1国際観光会館内日本貿易振興会。

#### 設 計 図 7月1日からの新価格

2.4m	セーリング・プラム（足舟兼用）	¥ 1,500
2.5m	ハイドロ・レーサー（15~25HP）	¥ 2,000
3m	カートップボート（合板角型）	¥ 1,000
3.4m	ローボート（丸型）	¥ 1,500

## 設計図

7月1日からの新価格

2.4m セーリング・プラム (足舟兼用)	¥ 1,500
2.5m ハイドロ・レーサー (15~25HP)	¥ 2,000
3m カートップボート (合板角型)	¥ 1,000
3.4m ローボート (丸型)	¥ 1,500
3.3m ランナバウト (7~30HP)	¥ 2,500
4m " (10~50HP)	¥ 4,000
5.5m クルーザー (20~100HP船外機)	¥ 7,000
4.8m インボード・ハイドロ	¥ 6,000
5.5m "	¥ 7,000
スペローラス・スループ (3.7m)	¥ 2,200
Y15クラス・スループ (4.6m)	¥ 3,500
Y19スループ(センターボード・クルーザー)	¥ 8,000
19呪 JOG (キング・フィッシャー)	¥ 13,000
20呪 JOG (丸型スループ)	¥ 20,000
21呪 JOG (Y21クラス)	¥ 18,000
22呪 JOG (丸型スループ)	¥ 25,000
24呪 JOG (丸型スループ又はヨール)	¥ 32,000

上記の艇の船型図及び主要目を集めた型録  
が出来ました。1部100円、送料20円

其他大型各種艇の設計図、在庫豊富  
設計料は船価の約4%です。

株式会社 横山造船設計事務所

横浜市中区相生町6丁目11 進交会館ビル  
(中村船具工業前) 電話・横浜(64)5090

エンジンコントロールがあり、その床下は機関室で、機  
走用エンジンの他に、ヤンマーディーゼル>付の2kw  
発電機と3系統のバッテリー及び配電盤などが装備さ  
れ、船内の給水ポンプ、ビルジポンプ、便所なども電  
化されている。

後部キャビンは乗員室で、乗組員のベットの他にチャーチテーブル、無電土のテーブル、方向探知機、エコーバーサウンダー(測深機)などが完備し、前部キャビンやコクピットとの連絡には伝声管が装備され、探照灯や電気メガホン、サイレン等もある。また、無電は超短波で、県下の全水域から、パトロールカーと同様に、隨時、県警指令室と通話できる。

ヨットというと、一般にはスポーツと遊びだけを考える人が多いが、元来のヨットは、完全な実用船だったものである。……16世紀から17世紀にかけての、世界史が根底から遙れ動いた戦乱の中からヨットは生れた。それ以来、国の指導者層の外國訪問や海上の作戦指導などに、長年活躍したのがヨットである。今日でも、重要な国際会談がヨットの上で行われるのは、その歴史の伝統が重んじられているからであろう。

また、サンフランシスコのパリオットボートとして、長年ヨットが使われているのも有名な事実である。風波の荒いサンフランシスコ港外に外国船が近づくと、スクーナー型帆船のパリオットボートが、素晴らしいスタイルと、見事な操縦を誇るかのように、走っている本船の舷間にピタリと横づけにして、ハイ